【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成22年9月9日(2010.9.9)

【公開番号】特開2009-24435(P2009-24435A)
【公開日】平成21年2月5日(2009.2.5)
【年通号数】公開・登録公報2009-005
【出願番号】特願2007-190365(P2007-190365)
【国際特許分類】
Ｅ０４Ｈ　9/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｆ　15/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｅ０４Ｈ　9/02　３２１Ｂ
Ｆ１６Ｆ　15/04　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月22日(2010.7.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
左右の柱と土台及び梁とで構成される壁フレームに制振装置を取り付けた構造であって、制振装置は、木材板から切出した長方形の伝達板とダンパーおよび連結金物を備え、連結金物は取付け壁と側壁を一体に備えた長尺の金物であり、連結金物を左右の柱の対向面にその取付け壁で固定し、その側壁に伝達板の長辺を固定することにより伝達板を左右の柱にそれぞれ固定すると共に、左右の伝達板間をダンパーで結合してあることを特徴とした制振補強された壁フレーム構造。
【請求項２】
連結金物は、上下の横架材間寸法の大部分に渡る長さを有することを特徴とした請求項１に記載の壁フレーム構造。
【請求項３】
連結用金物は端部に引寄せボルトの係合部を備えていることを特徴とした請求項１又は２に記載の壁フレーム構造。
【請求項４】
ダンパーは、２枚の平板間に粘弾性材を充填して接着した構造であることを特徴とした請求項１～３のいずれか一つに記載の壁フレーム構造。
【請求項５】
左右の伝達板の片面にわたりダンパーを取り付け、伝達板の他の面にわたりはらみ防止部材を取付けてあることを特徴とした請求項１～４のいずれか一つに記載の壁フレーム構造。